

宮本ゼミ有志「なんちゃれ」チャレンジ内容  
“宮本ゼミ有志の活動で新聞に載るぞ！”

# 新聞掲載実績

宮本ゼミ有志「なんちゃれ」担当

佐野結衣

メンバー

4年 速水隆介、矢島尚弥、井上童葉、井上和奏

3年 前嶋希翔、三浦彩楓

# ゼミの活動の最新記事

## 中部経済新聞 (11月27日に取材を受け12月1日掲載)

高速バスなどを運行するシエイアール東海バス(本社名古屋市中川区小本3の103、小笠原均社長)は、愛知東邦大学の学生とバスツアーを企画した。来年1〜2月にかけて「尾張四観音」を巡るバスツアーを開催する。今年7月に同大と結んだ産学連携協定の取り組みの一環。若者の感性を生かしたユニークなツアーで、幅広い客層にアピールする。(伊藤綾音)

今年1月、観光に関する学生のアイデアを募る「観光まちづくりアワード」(愛知県主催)があり、同大経営学部の宮本佳範教授ゼミの学生らが発表した内容に同社が興味を持ち、ツアー企画に至った。

尾張四観音を巡るツアーは計6回開催する。「笠寺観音」「荒子観音」を巡るコースは来年1月27日、2月10日、同17日。「龍泉寺観音」「基目寺観音」は1月28日、2月11日、同18日。1コースのみの参加も可能だ。七宝焼作りや有松散策などの体験を盛り込むほか、地元の蜂蜜やクラフト

## 来年、「尾張四観音」巡る 東邦大生とバスツアー企画

### JR東海バス



ツアーを企画した学生ら

ビールも土産に付く。

ツアー企画に携わった学生は7人。うち3人はガイドとしてツアーに同行する。バス1台につき乗客数は最大34人で、価格は8千円程度。来月中旬ごろから予約受け付けを開始する。

リーダーの学生・矢島尚弥さんは「尾張四観音はあまり知られていない」と話し、愛知県の観光振興に力になりたい考えだ。シエイアール東海バス企画営業部販売促進課の大野晋さんは「今回好評であれば第2弾、第3弾も実施したい」と話している。

# 私たちの取組みがきっかけで結ばれた JR東海バスと愛知東邦大学との連携協定の記事① 全私学新聞（9月3日）

愛知東邦大学  
ジェイアル東海バス

## 商品の共同開発へ産学連携協定締結 業務通じて学生に学びの場を提供



鷗飼学長（左）と小笠原社長（右）

屋城をめぐる「旅」のプランに同社が関心を持ったことがきっかけとなった。

両者が交流を進める中、大学側からコ

ロナ禍による各種制限で実体験に基づく学びの場が減ったとの声があり、同社が交通事業を通じて学びを提供できると考え、協定を結ぶに至った。

調印式には、同大学から鷗飼裕之学長、舩木恵一副学長、上條憲二地域・産学連携センター長（オンライン参加）、宮本教授、同社からは小笠原均社長、天野岳彦取締役、岩田茂樹取締役らが出席した。

鷗飼学長は「名古屋は歴史ある地域であり、面白い旅行商品などが作れると思う。学生の柔軟な発想を生かすとともに、業務を通じて学生に良い学びの場を提供してほしい」と述べた。

小笠原社長は「現在、学生の企画を基に旅行商品化を推進しており、これを通じて、観光需要の掘り起こしを進める。学生には観光やバス事業を通じた実体験で学びを深めてほしいと思っている」と話した。

愛知東邦大学（愛知県名古屋市）とジェイアル東海バス（株）（同）は7月25日、同大学で産学連携協定調印式を行った。同協定に基づき、旅行商品の企画開発・催行や、高速バス路線の販売促進などを同大学の学生と同社が共同で進めていく。

今回の連携実現は今年

1月30日に開催された愛知県主催の「観光まちづくりアワード」で、同大学経営学部の宮本佳範教授ゼミの学生たちが発表した「尾張四観音と名古屋



両者は交流を進め、ミーティングも行った

両者は交流を進め、ミーティングも行った。

# 私たちの取組みがきっかけで結ばれた JR東海バスと愛知東邦大学との連携協定の記事② 東京交通新聞（7月31日）

## 大学生とツアー商品企画

JR東海バス 愛知東邦大と協定

ジェイアール東海バス  
(名古屋市、小笠原均社長)  
と愛知東邦大学(同、鶴飼  
裕之学長)は25日、学生と

のツアー商品の企画で連携  
協定を締結した。

同大学で小笠原社長と鶴  
飼学長らが出席し、協定の  
締結式を行った。



協定を締結した愛知東邦  
大の鶴飼学長(左)とJ  
R東海バスの小笠原社長  
(25日、名古屋市)

両者は、旅行商品の企画  
開発、高速バスの販売促進  
などで協力する。

コロナで学生の実体験に  
基づく学びの場が減ってい  
ることから協定の締結とな  
った。

### タク行政処分

中部運輸局はこのほど、  
6月分のタクシー事業者に  
対する行政処分状況を公表  
した。処分を受けた事業者  
は次のとおり。

山下運送(愛知県稲沢市、  
山下博嗣社長)・本社営業  
所(同) 〓今年1月の監査  
で、①運行管理者の解任届  
出(道運法23条3項) ②業  
務記録の記載事項不備(運  
規25条3項) ③乗務員台帳  
の記載事項不備(運規37条  
1項) ④特定の運転者に対  
する指導義務(運規38条2  
項) ⑤特定の運転者に対す  
る運転適性診断未受診(同)  
⑥定期点検未実施(運規45  
条) 〓の6件の違反が判

# ゼミの取組みがきっかけで結ばれた ジェイオール東海バスと東海バスと 愛知東邦大学との連携協定の記事③ 交通新聞（8月7日）

## 愛知東邦大と連携協定

JR東海バス 学生と企画開発、販売促進

ジェイオール東海バスは7月25日、愛知東邦大学（名古屋市中）と産学連携協定を締結した。旅行商品の企画開発・催行や、高速バス路線の販売促進などについて、学生と共同で進めていくことを検討する。

今年1月、愛知県主催の「観光まちづくりフォーラム」で旅行商品企画コンペに参加



した同大学経営学部の本佳範教授ゼミの学生による企画「尾張四箇音と調印式で握手を交わす小笠原社長（右）と鶴飼学長

名古屋城をめぐる旅」に、同社が関心を持ったことがきっかけとなった。同社では交流を進める中、コロナ禍で実体験に基づく学びの場が少なくなつたという声を聞き、交通事業を通じて学びを提供できるのではないかと考え、協定締結に至った。

同大学で行われた調印式には、小笠原均社長、鶴飼裕之学長、宮本教授らが出席。小笠原社長は「高速バスの利用者は若い層が多い。学生の方々の意見を参考にしたい」、鶴飼学長は「学生の柔軟な発想を生かすとともに、良い学びの場を提供していただきたい」とあいさつした。

## コンテナ列車426本

JR貨物、お盆休みに運転

JR貨物は、お盆休み期間（10～17日）の多様なニーズに配慮するため、全国で426本（前年比98・4%）のコンテナ列車を運転する。

期間中の主な列車は、下りが隅田川発札幌貨物ターミナル行き3051、3053列車、東京

# 今後のメディア露出見込み

## ①中日新聞に掲載見込み有。ほぼ確実！

既に取材を受けました!! 時期は、企画したツアーの募集販売が開始される12月半ばか、ツアーを実施する1月後半の見込み。

## ②メ～テレに出るかも!?

名古屋テレビ（メ～テレ）からの打診があり、企画したツアーを実施するときに取材が入るかも。

# 資 料

本プロジェクトが採択された、国土交通省の「交通・観光連携型事業(地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化)」に向け提出した書類の一部。原案は井上和奏を中心にみんなで話し合って作成。

# 様式1 事業計画 (JR東海バス)

## 【事業の代表者及び参加者】

計画の代表者：JR東海バス  
愛知東邦大学 宮本ゼミ  
参加者：名古屋市、名古屋観光コンベンションビューロー、  
4 観音寺

## 【事業の目的】

徳川家康が築城した名古屋城を中心に四方にある尾張四観音を巡ることで、尾張文化の知名度アップと愛知県を尾張文化の観点から楽しんでいただくことを目的とする。NHK大河ドラマ「どうする家康」により尾張が注目を集めているこの機に、尾張文化を通じて愛知県の活性化へ繋げる。

## 【実施する事業の概要】

自己資金で実施するメニューを含む場合はその旨を明記してください。

【実施主体】 JR東海バス株式会社

【運行日】 2023年 1/27(土)・28(日)・10(土)・11(日)・17(土)・18(日) 【計6回】 運行は1日に1台・1回。

### 【事業概要】

JR東海バスの会員を中心に、東海地区在住者をターゲットとしたバスツアーを設定。高いご利益があると言われる尾張四観音を巡り、お寺以外の観光地でもゆっくりツアーを堪能して貰うべく、2日間に分け計6日間の開催。ツアーの企画・実施に学生が参画することで、世代間交流の機会を創出することができる。

#### 《特徴》

- ① 2コースで4観音を巡る商品設定。※1コースのみの参加も可
- ② 観音寺を巡るだけでなく、歴史ある体験や観光施設見学の時間を設けることで尾張文化をより一層楽しんでいただく
- ③ 参加者には、観音巡りに合わせたオリジナル御朱印帳や地元のハチミツ、大曽根醸造所のクラフトビールなどの地域のお土産を提供
- ④ 尾張文化のストーリーについて、学生がバス車内や観光施設においてガイドを行う

【周遊コース(予定)】 ※大型バス、学生ガイド付きによる運行

[Aコース] 名古屋駅 ⇒ 龍泉寺観音散策 ⇒ 徳川園 食事&園内散策 ⇒ 甚目寺観音散策 ⇒ 七宝焼体験 or アートヴィレッジ散策 ⇒ 名古屋駅  
(9:00発) (9:40着 10:55発) (11:35着 13:05発) (13:55着 14:55発) (15:15着 16:30発) (17:20)

[Bコース] 名古屋駅 ⇒ 笠寺観音散策 ⇒ 日本料理おぎ原 食事 ⇒ 荒子観音散策・円空仏彫刻体験 ⇒ 有松散策 ⇒ 名古屋駅・ベッセルH名古屋  
(9:00発) (9:50着 10:50発) (11:40着 12:55発) (13:05着 14:20発) (15:20着 16:50発) (18:10・18:20着)  
※希望者は入浴

### 【プロモーション】

- ① パンフレット (3000枚) ・ ポスター(50枚)
- ② HP・SNS等で告知を行い(商品発売開始～最終運行日)
- ③ ノベルティグッズ等の特典 (500円以内×240人分作成。4観音寺にちなみ御朱印を意識したものとする。)
- ④ 地域産品のお土産も準備(地域性が出るもの、地域に根差すストーリーが確りした産品を500円以内で、各コース2品を設定する。  
500円以内×120人×2品×2コース)

## 【補助対象期間終了後の事業計画】

尾張文化や愛知県の魅力を発信するため企画したツアー。御朱印やお寺巡りなどターゲットとしている高齢者の関心が集まり易い要素と想定。ツアー内には古風な建造物や食事処、夕日が見られる龍泉寺の展望台等を含んでいる為、SNSに敏感な若年層や外国人観光客にも関心を持って貰えると思料。尾張文化や愛知県の魅力を幅広く広める為に新たなターゲット層へ働きかけ、インバウンドも含めた通年商品として販売に繋げていく。

宮本ゼミ有志「なんちゃれ」チャレンジ内容  
“宮本ゼミ有志の活動で新聞に載るぞ！”

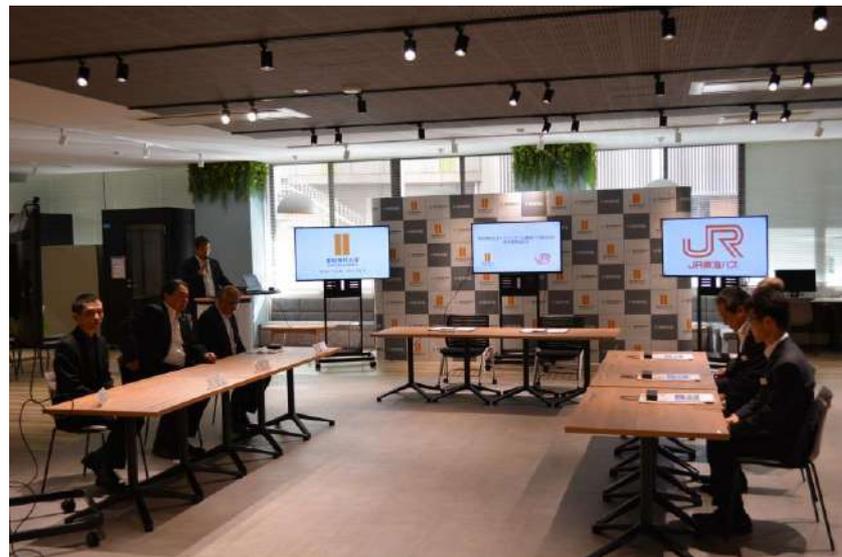
これまでの活動  
エビデンス写真集

宮本ゼミ有志×JR東海バス  
「やっとかめ！2コースで巡る尾張四観  
音コンプリートツアー」  
企画プロジェクト

# JR東海バス × 宮本ゼミ有志 産学連携企画 キックオフミーティング風景



# このプロジェクトがきっかけになった JR東海バスと愛知東邦大学との連携協定締結式と、 その後のミーティング写真



# JR東海バス本社・車庫見学



# JR東海バス本社にてのミーティング風景



# 笠寺観音訪問と商店街振興組合との交渉風景



# 七宝焼アートビレッジ訪問と館長様および あま市観光課長様とのミーティング風景



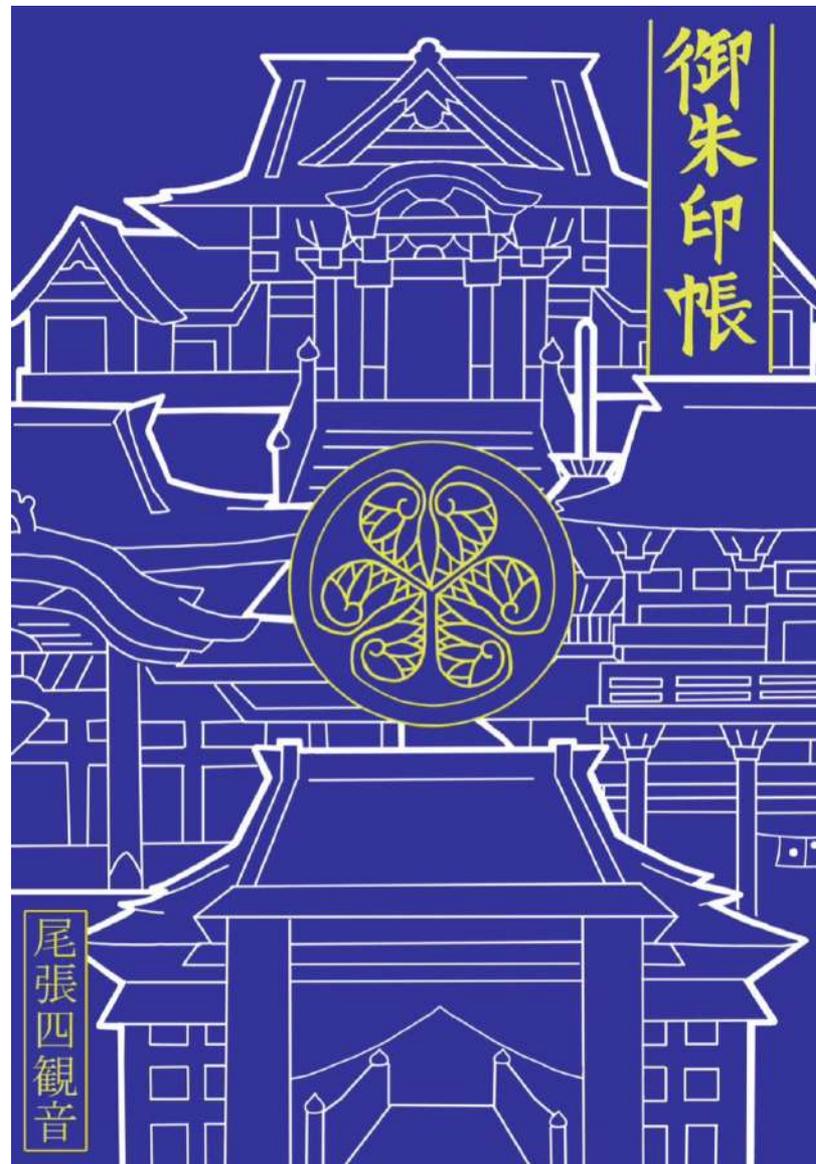
# バスガイドのやり方を学びに行った 福井の写真



# 尾張四観音ツアー限定オリジナル御朱印帳 (デザイン井上和奏4年・現在最終作業中)



裏表紙



表紙

JR  
東海バス

×

愛知東邦大学  
宮本ゼミ

尾張四観音ツアー

きてね!